

4月 国立公園通仙園コース

こくりつこうえん つうせんえん
『国立公園通仙園』



★JR児島駅→添池公園→本荘八幡宮→国立公園通仙園→(千手庵)→JR児島駅 (約9km)

瀬戸内海の多島美と水島の工場群という、自然と人工的な景観の両方が楽しめます。

遊歩道が整備されているので散策に適しており、ツツジの名所としても有名。ほとんど人の手が加わっていない自生のツツジは、桜の満開から1週間ほど経った頃に見頃を迎え、毎年約3,000本が咲き誇ります。また、ふもとの児島通生浜には、市花の藤棚が約300mに渡ってみることができます。

スタート
ゴール

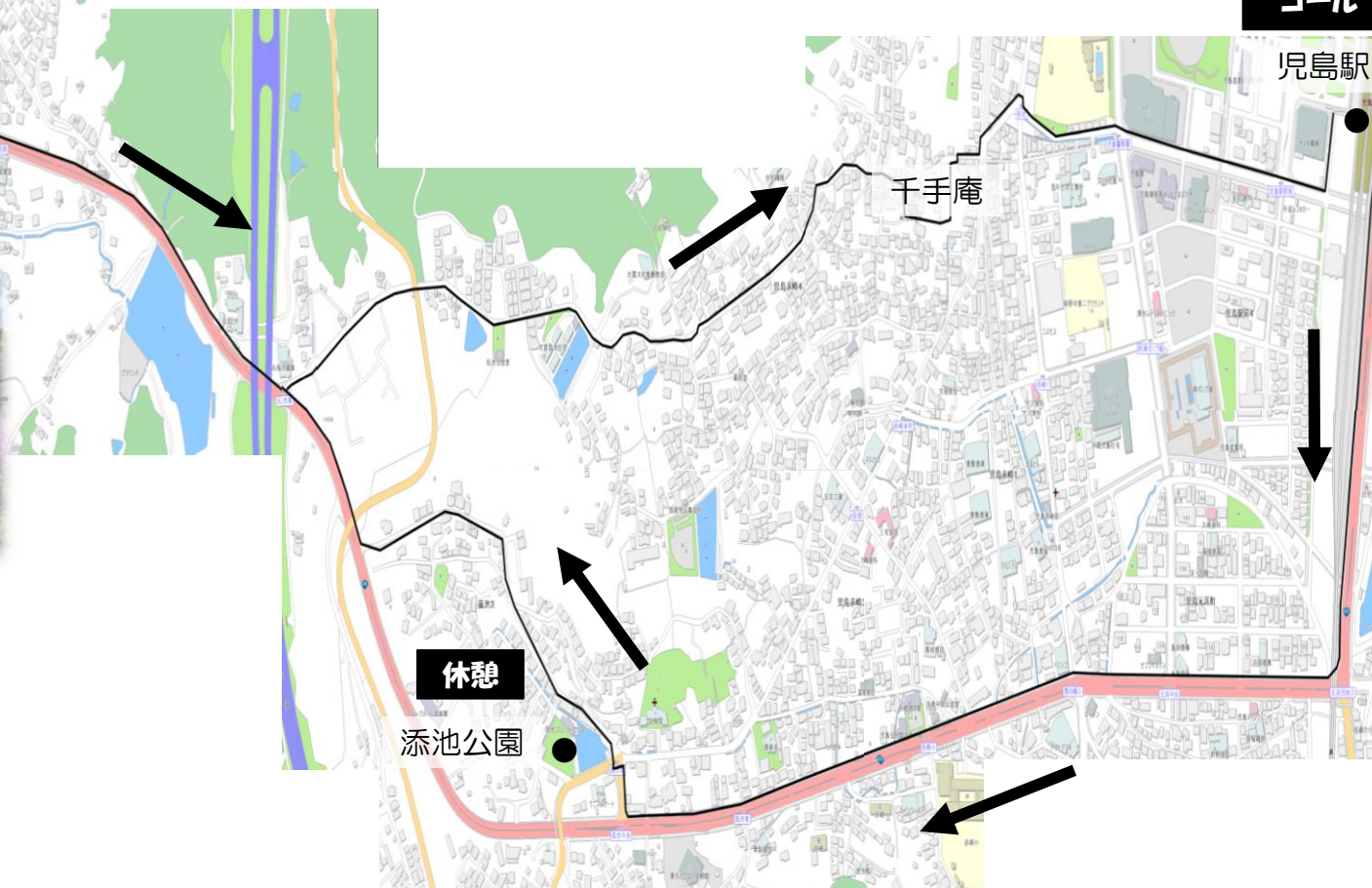


休憩



PASCO IPC

おかやま全県統合型GIS



休憩

添池公園

5月 ライフパーク倉敷コース

★栄駅→第二福田小学校→ライフパーク倉敷(埋蔵文化財センター)→栄駅(約8km)

『ライフパーク倉敷』

倉敷埋蔵文化財センターは、市内の埋蔵文化財を保護・保存するための拠点施設として、平成5年に開館しました。館内には、出土遺物を陳列した展示室やそれらを保管する収蔵庫をはじめ、遺物の化学的処理を行う木器・鉄器保存処理室や遺物整理室などがあります。



6月 増原池コース

★新倉敷駅→神前神社→増原池→道口公園・道口八幡神社→新倉敷駅(約7.5km)

『神前神社』

寛文10年（1670年）、富田・八重沖の干拓ができ、ついで増原池・大木池など灌漑用溜池が完成したため、農民の入植者も次第に増加してきた。そこで、延宝6年（1678年）当山神崎山に、八重・道越・七島・亀山・島地の各村の鎮守神を合祀し、神崎宮が創建されました。

祭神の猿田彦命が天孫降臨に際し、ご案内役をした神であることから、神前大明神と称されるようになりました。

13世紀作（鎌倉時代）である亀山焼壺が、神前神社境内より出土し、倉敷市文化財に指定されています。



 
おかやま全県統合型GIS

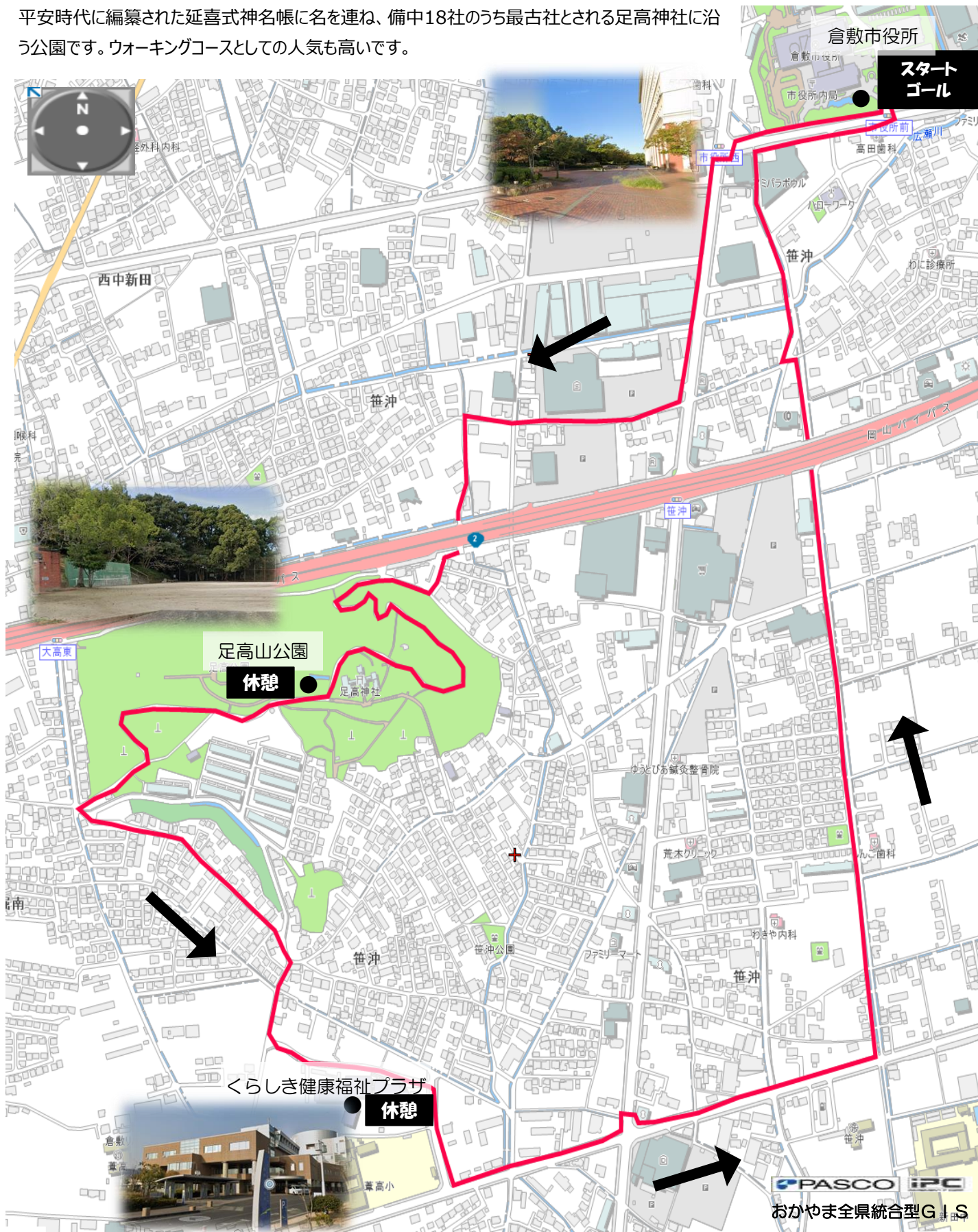
10月 足高山公園コース

★倉敷市役所→足高山公園→くらしき健康福祉プラザ→倉敷市役所(約6.5km)



『足高山公園』

平安時代に編纂された延喜式神名帳に名を連ね、備中18社のうち最古社とされる足高神社に沿う公園です。ウォーキングコースとしての人気も高いです。



11月 都羅の小径コース

★栄駅→宝島寺→(地藏禅院・梅雲寺古墳)→薄田泣菫生家→(寿町公園)→栄駅 (約7.5km)

つらのこみち
『都羅の小径』

大平山の山腹には、薄田泣菫生家、宝島寺、厄神社、籠取神社など多くの史跡が点在する「都羅の小径」と呼ばれる江戸時代に築かれた古い小道があります。元海辺の道は複雑に入り込み、その中に古い民家が点在しているととても静かな町並みです。史跡を観ながらの街歩きは、郷土の歴史にふれることができます。



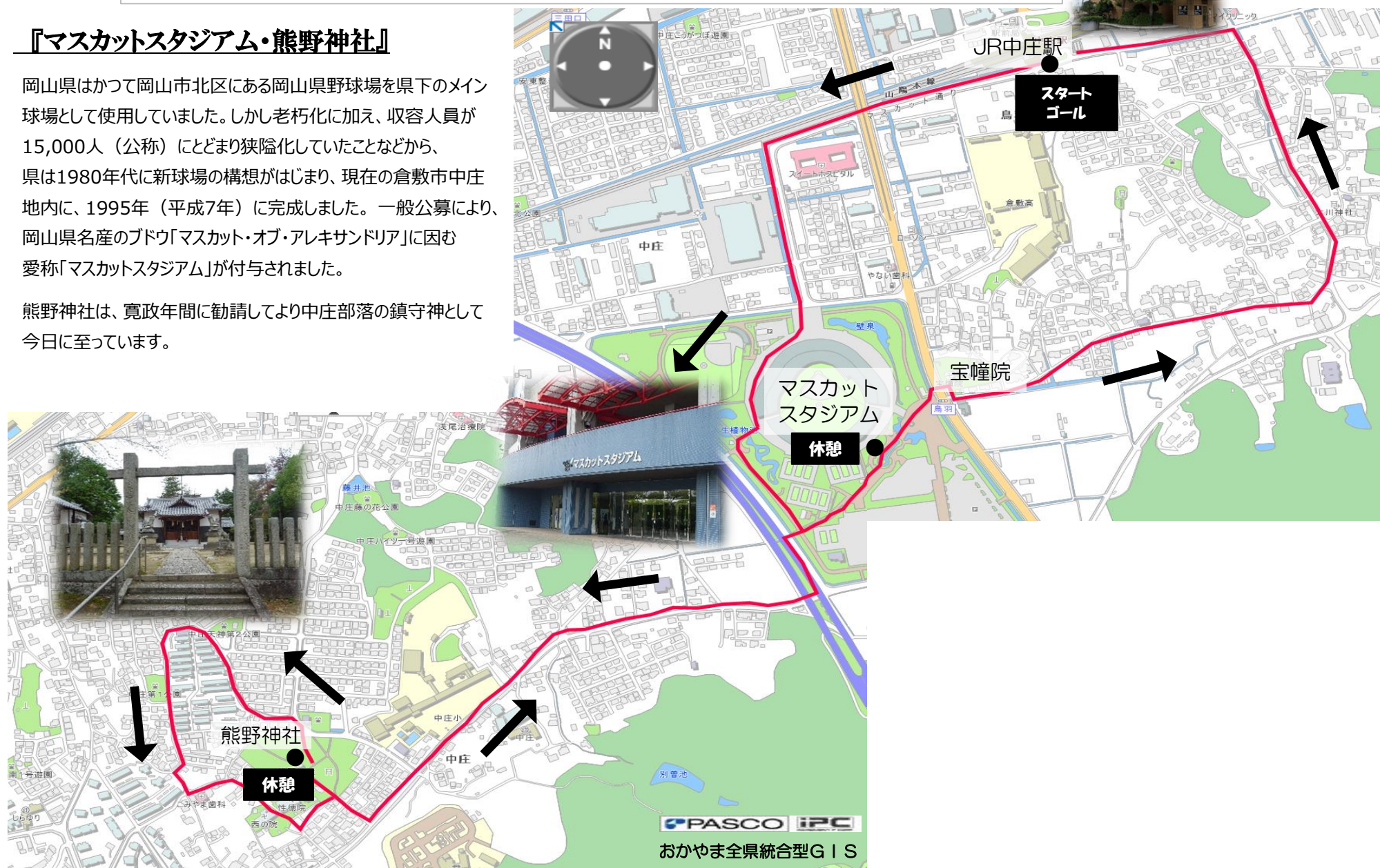
12月 熊野神社コース

★JR中庄駅→マスカットスタジアム→熊野神社→マスカットスタジアム→(宝幢院)→JR中庄駅(約7.0km)

『マスカットスタジアム・熊野神社』

岡山県はかつて岡山市北区にある岡山県野球場を県下のメイン球場として使用していました。しかし老朽化に加え、収容人員が15,000人(公称)にとどまり狭隘化していたことなどから、県は1980年代に新球場の構想がはじまり、現在の倉敷市中庄地内に、1995年(平成7年)に完成しました。一般公募により、岡山県名産のブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」に因む愛称「マスカットスタジアム」が付与されました。

熊野神社は、寛政年間に勧請してより中庄部落の鎮守神として今日に至っています。



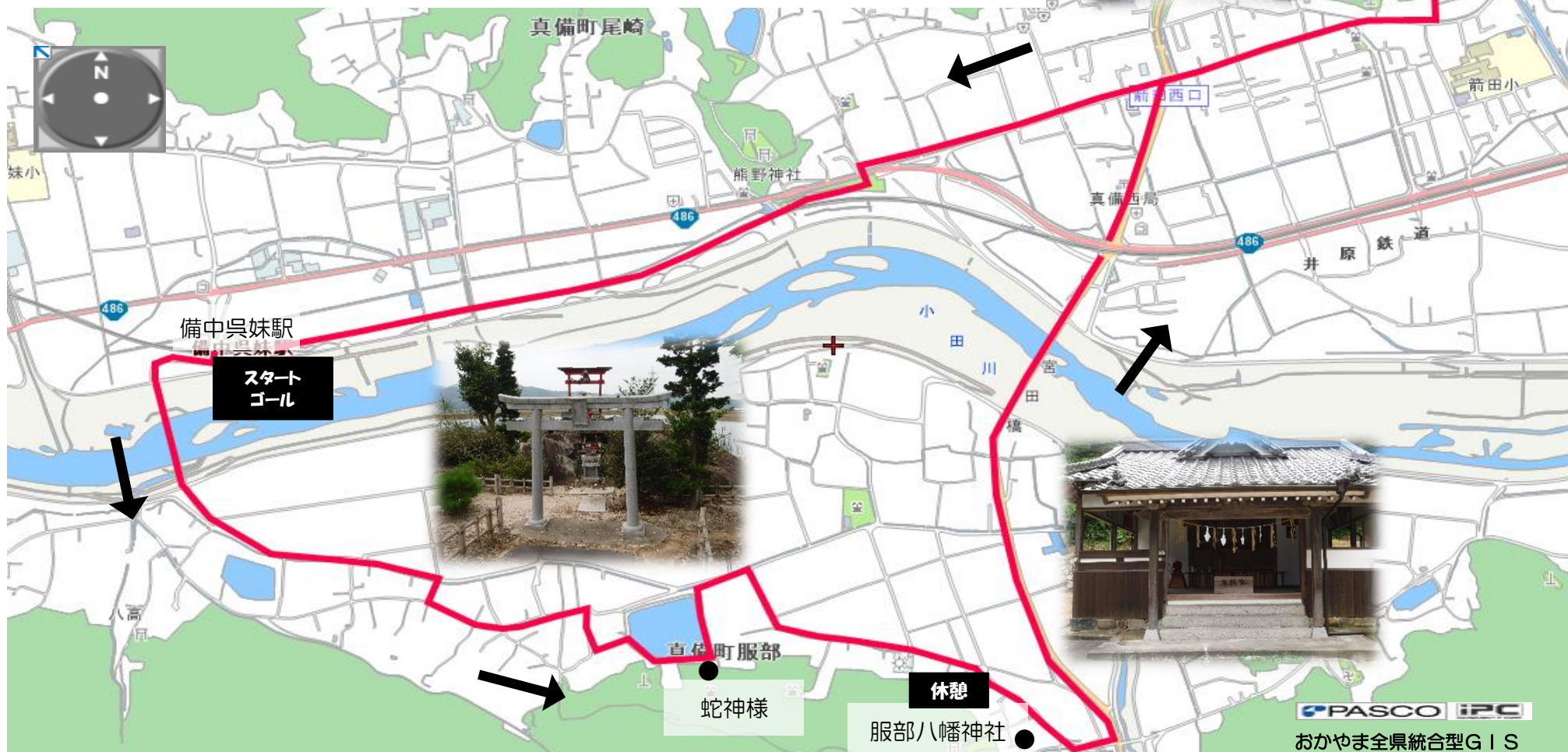
1月 服部八幡神社コース

★(井原鉄道)備中呉妹駅→蛇神様→服部八幡神社→まきび公園→備中呉妹駅(約7.0km)

『服部八幡神社・まきび公園』

応神天皇を祀り服部村の産土神として崇敬せられ、社殿は元禄十年以来寛暦二年、安政四年に増改築をし現在に至っています。明治初年村社に列し、大正十三年社務所を新築し、昭和七年参道の拡張と大鳥居を建造しました。昭和十八年四月神饌幣帛料供進神社に指定されました。

まきび公園は、昭和61年(1986)5月、中国西安市に吉備真備の記念碑が建立されたのを記念して、また郷土の偉人を顕彰し後世に伝えるため開園しました。緑に囲まれた小さな谷の緩やかな傾斜地を利用して、中国風の公園が造られています。



2月 鴻八幡宮コース

★児島支所→中山公園→鴻八幡宮→三冠酒造→児島支所(約7.0km)



『鴻八幡宮』

鴻八幡宮は、約1300年前の大宝元年（701年）に創建されたと伝えられます。地元の総氏神としてこの地方に於ける信仰の中心であり、住民の心のよりどころとして崇められ、国家鎮護の神、厄除開運の神、殖産の神、更に最近では交通安全や安産の守神として広く崇敬されています。また古社八幡宮として鎌倉時代は歴代国司の崇敬はもとより地方官民の崇敬を集めていました。